

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和02年12月02日

計画の名称	太子町における快適な暮らしを実現する下水道整備の推進（防災・安全）												
計画の期間	平成31年度～令和05年度（5年間）								重点配分対象の該当				
交付対象	太子町												
計画の目標	雨水貯留施設を設置することにより、水循環の改善及び雨水流出抑制の向上を図る。 また、下水道整備を行い、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	109	A	109	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画的成果目標（定量的指標）  定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(R1当初)	(R3末)	(R5末)
1	R5末までに、雨水貯留槽を35基設置する。 雨水貯留槽の設置基数（35基）	22基	42基	57基
2	R5末までに、老朽化したマンホールポンプ14基の更新を行う。 計画期間内に予定するマンホールポンプの更新基数（14基）	0基	8基	14基
3	R5末までに、老朽化したマンホール蓋40箇所の更新を行う。 計画期間内に予定するマンホール蓋の更新箇所数（40箇所）	0箇所	20箇所	40箇所
4	R4末までに、老朽化した管渠130mの更新を行う。 老朽管渠の更新実施率（130m） 更新実施延長／対象延長	0%	0%	100%
5	R5末までに、太子前処理場の耐水化計画を策定する。 太子前処理場の耐水化計画策定（1処理場）	0処理場	0処理場	1処理場

備考等	個別施設計画を含む	—	国土強靱化を含む	—	定住自立圏を含む	—	連携中枢都市圏を含む	—	流域水循環計画を含む	—	地域再生計画を含む	—
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H31	R02	R03	R04	R05			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	太子町	間接	個人	—	—	雨水貯留槽設置補助金	雨水貯留槽35基分	太子町	■	■	■	■	■	1		策定中
	A07-002	下水道	一般	太子町	直接	太子町	管渠（ 污水）	改築	マンホールポンプ更新事業	マンホールポンプ14基 通報 装置等	太子町		■	■	■	■	11		—
	A07-003	下水道	一般	太子町	直接	太子町	管渠（ 污水）	改築	マンホール蓋更新事業	マンホール蓋40箇所	太子町		■	■	■	■	16		—
	A07-004	下水道	一般	太子町	直接	太子町	管渠（ 污水）	改築	管渠更新事業	管渠φ1000 L=130m更生工法	太子町		■	■	■		72		—
	A07-005	下水道	一般	太子町	直接	太子町	—	—	耐水化計画策定事業	太子前処理場耐水化計画策定 （1処理場）	太子町			■	■	■	9		—
											小計						109		
											合計						109		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H31	R02			
配分額 (a)	0	11			
計画別流用増△減額 (b)	0	0			
交付額 (c=a+b)	0	11			
前年度からの繰越額 (d)	0	0			
支払済額 (e)	0	7			
翌年度繰越額 (f)	0	4			
うち未契約繰越額(g)	0	4			
不用額 (h = c+d- e- f)	0	0			
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d)) %	0	36.36			
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由		防食型マンホールの受注生産による納期遅延のため			

## 事前評価チェックシート

計画の名称： 太子町における快適な暮らしを実現する下水道整備の推進（防災・安全）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性 1) 上位計画（総合計画、生活排水処理計画、都市計画等）との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性 2) 下水道の諸計画（合流式下水道緊急改善計画等）との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性 3) 関連する諸計画（河川整備計画等）と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性	
②地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえて目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性	
②地域の課題への対応 2) 必要性という観点から事業内容、整備箇所の位置づけが高い。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と定量的指標の整合性 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
④定量的指標の明瞭性 1) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性	
⑤目標と事業内容の整合性 1) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
⑤目標と事業内容の整合性 2) 目標及び事業内容と計画区域等との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
⑥事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
⑥事業の効果 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑦円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性	
⑦円滑な事業執行の環境 2) 関連する関係機関等の調整が、図られている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑧地元の機運 1) 事業実施に向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性	
⑧地元の機運 2) 計画について住民等との間で合意が形成されている。	○

# 社会資本総合整備計画

計画の名称	1 太子町における快適な暮らしを実現する下水道整備の推進 (防災・安全)		
計画の期間	平成31年度 ~ 令和5年度 (5年間)	交付対象	太子町

